

平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年8月6日

上場会社名 株式会社 第一興商 上場取引所 JASDAQ
 コード番号 7458 URL <http://www.dkkaraoke.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和田 康孝
 常務取締役兼
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 (氏名) 畑 英爾 TEL (03)3280-2151
 管理本部長

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績 (平成19年4月1日 ~ 平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	30,428	△4.3	3,774	5.5	3,942	7.1	2,107	25.6
19年3月期第1四半期	31,805	1.0	3,576	50.4	3,680	54.8	1,677	78.1
19年3月期	124,654	—	13,189	—	12,937	—	4,801	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	30	27	—	—
19年3月期第1四半期	24	11	—	—
19年3月期	68	99	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
20年3月期第1四半期	128,057		69,263		53.4		982	32
19年3月期第1四半期	134,995		66,577		48.7		945	51
19年3月期	130,931		68,788		51.9		975	44

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー			投資活動によるキャッシュ・フロー			財務活動によるキャッシュ・フロー			現金及び現金同等物期末残高	
	百万円			百万円			百万円			百万円	
20年3月期第1四半期	3,542			△5,326			△4,018			26,143	
19年3月期第1四半期	7,876			△5,787			657			26,969	
19年3月期	32,509			△18,059			△6,792			31,918	

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金	
	第1四半期末	
	円	銭
19年3月期第1四半期	—	—
20年3月期第1四半期	—	—

3. 平成20年3月期の連結業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	63,700	0.8	6,200	△6.9	6,300	△8.1	3,200	△19.1	45	98
通期	127,800	2.5	13,000	△1.4	13,200	2.0	6,400	33.3	91	95

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(参考) 四半期個別経営成績等の概況（平成19年4月1日～平成19年6月30日）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	21,024	△7.1	2,631	14.7	3,318	9.2	1,886	8.4
19年3月期第1四半期	22,632	△0.4	2,295	74.8	3,037	92.6	1,740	91.8
19年3月期	83,382	—	7,888	—	8,317	—	2,310	—

	総資産	純資産
	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	79,040	52,407
19年3月期第1四半期	84,840	52,698
19年3月期	80,200	52,189

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済は、原油高や金利情勢などの影響はあったものの、好調な企業収益を背景に設備投資の増加や雇用情勢の改善などから、景気は緩やかな拡大基調で推移いたしました。

当カラオケ業界におきましては、クラブ・スナックなどのナイト市場は未だ厳しい状況で推移しているものの、カラオケボックスなどのデイ市場では個人消費の回復から、集客が上向くなど明るい兆しがみえてきております。

この様ななか、当社グループはカラオケ業界のリーディングカンパニーとして、常に先進性・信頼性・安全性をモットーに高品質な商品とサービスを提供する「顧客満足度ナンバーワン」企業を目指し、主力である業務用カラオケ事業を中心に各事業へ積極的に取り組み、安定的収益基盤の確立に努めてまいりました。

業務用カラオケ事業におきましては、新商品「プレミアムDAM（DAM-XG1000）」を中心に商品の販売および賃貸に注力してまいりました。また当期より情報端末「DAMステーション」によるコンテンツサービス（以下、DSサービス）を当事業と一体化させ、DAMの差別化とカラオケ事業の付加価値向上を図るほか、6月よりエンドユーザー向けに新商品のプロモーションを積極的に展開し、DAMブランドの更なる訴求を図ってまいりました。

当第1四半期におきましては、新商品の発売開始と入荷の遅れから商品の出荷台数は前年同期に比べ減少いたしました。上記施策が奏効し「プレミアムDAM（DAM-XG1000）」は市場から高い評価を得ております。

カラオケ・飲食店舗事業におきましては、集客が上向くなか、前期に引き続き店舗の積極的なスクラップアンドビルドを実施し、また、ビッグエコーと飲食店舗の複合化による稼働率の改善と収益の向上を図ってまいりました。この結果、ビッグエコーでの既存店売上高が改善するほか、飲食店舗数も増加し、売上高および営業利益はともに増加いたしました。

音楽ソフト事業におきましては、レコード子会社である日本クラウン㈱において新曲の発売が当期間には少なかったことから売上への貢献は小さかったものの、㈱徳間ジャパンコミュニケーションズにおいては商品販売が堅調に推移いたしました。

その他の事業におきましては、携帯電話向けコンテンツ配信サービス、「スカイパーフェクTV！」をプラットフォームとする衛星放送事業、不動産賃貸を含むその他の事業を行っております。携帯電話向けサービスと衛星放送事業の加入者数はともに伸び悩んでおりますが、両事業ともコストコントロールの継続により安定した収益を確保しております。また、不動産賃貸などその他の事業におきましても堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期の売上高は、カラオケ・飲食店舗事業は増収となったものの、業務用カラオケ事業や音楽ソフト事業の減収により30,428百万円（前年同期比4.3%減）となりました。一方、利益面におきましてはDSサービスの損失改善やカラオケ・飲食店舗事業の増益から、営業利益は3,774百万円（同5.5%増）、経常利益3,942百万円（同7.1%増）となり、四半期純利益は2,107百万円（同25.6%増）となりました。

<参考 各事業における主要数値>

(業務用カラオケ事業)

	単位	前第 1 四半期	当第 1 四半期	対前期増減	増減率
DAM出荷台数	千台	11	7	△4	△36.4%
機器賃貸契約件数・6月末	千件	55	55	0	0.0%
DAM稼働台数・6月末	千台	210	210	0	0.0%
(うちブロードバンド稼働台数)	千台	(72)	(81)	(9)	12.5%
DAMステーション稼働台数・6月末	千台	18	19	1	5.6%
club DAM MEMBERSHIP会員数	千人	1,246	1,737	491	39.4%

(カラオケ・飲食店舗事業)

	単位	前第 1 四半期	当第 1 四半期	対前期増減	増減率
ビッグエコー店舗数・6月末	店	212	207	△5	△2.4%
(うち複合店舗数)	店	(12)	(17)	(5)	41.7%
" ルーム数	ルーム	6,309	6,171	△138	△2.2%
飲食店舗数・6月末	店	51	58	7	13.7%
" 座席数	席	5,949	6,763	814	13.7%

(注) 上記数値には海外店舗を含んでおりません。

(音楽ソフト事業)

当期間における主カアーティスト

会社名	アーティスト名
日本クラウン(株)	Metis 長保 有紀 川野 夏美 真木 ことみ アグネス・チャン
(株)徳間ジャパンコミュニケーションズ	リュ・シウォン 水森 かおり 吉川 晃司 竹島 宏 松前ひろこ

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,873百万円減少し、128,057百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動資産では、現金及び預金が5,794百万円減少し、たな卸資産が751百万円増加し、受取手形及び売掛金が241百万円増加しております。

固定資産では、土地が1,435百万円増加し、カラオケルーム及び飲食店舗設備が376百万円増加し、投資有価証券が298百万円減少しております。

負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べ3,348百万円減少し、58,794百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動負債では、短期借入金が2,597百万円減少し、未払法人税等が1,129百万円減少し、賞与引当金が917百万円増加しております。

固定負債では、役員退職慰労引当金が660百万円減少しております。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べ475百万円増加し、69,263百万円となりました。

これは主に、当第1四半期純利益2,107百万円、剰余金の配当1,391百万円、その他有価証券評価差額金の減少277百万円によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物（以下資金という。）は、前連結会計年度末に比べ5,774百万円減少し、26,143百万円となりました。

当第1四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、税金等調整前四半期純利益が4,022百万円、減価償却実施額が3,281百万円及び法人税等の支払額が3,180百万円等により、前第1四半期に比べ4,334百万円減少し、3,542百万円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、有形固定資産の取得による支出が3,808百万円、無形固定資産の取得による支出が1,053百万円等により、前第1四半期に比べ460百万円減少し、5,326百万円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、長期借入金の返済による支出が3,932百万円、長期借入による収入が3,180百万円及び短期借入金の純増減額の支出が1,862百万円等により、前第1四半期に比べ4,675百万円増加し、4,018百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第1四半期の業績は計画を上回り推移しておりますが、今後において不確定要素も多いため、業績予想につきましては、前回公表（平成19年5月14日）の予想通りといたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上につきましては見積実効税率をベースとした計算を行っております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前第 1 四半期 (平成18年 6 月30日)		当第 1 四半期 (平成19年 6 月30日)		増減		前連結会計年度 (平成19年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
(資産の部)		%		%		%		%
流動資産								
現金及び預金	27,446		26,609		△836	△3.1	32,404	
受取手形及び売掛金	12,966		9,835		△3,131	△24.2	9,593	
たな卸資産	6,757		5,844		△912	△13.5	5,093	
繰延税金資産	1,045		1,367		321	30.8	1,294	
その他	5,485		5,202		△282	△5.2	4,569	
貸倒引当金	△1,191		△769		421	△35.4	△745	
流動資産合計	52,510	38.9	48,090	37.6	△4,420	△8.4	52,210	39.9
固定資産								
有形固定資産								
建物及び構築物	5,787		6,104		316	5.5	6,122	
カラオケ賃貸機器	10,089		8,736		△1,353	△13.4	8,949	
カラオケルーム及び飲食店 舗設備	13,929		13,020		△908	△6.5	12,644	
土地	14,223		15,707		1,484	10.4	14,272	
建設仮勘定	414		142		△271	△65.7	235	
その他	3,880		2,020		△1,860	△47.9	2,094	
有形固定資産合計	48,324	35.8	45,732	35.7	△2,592	△5.4	44,318	33.9
無形固定資産								
その他	7,715		5,946		△1,768	△22.9	6,074	
無形固定資産合計	7,715	5.7	5,946	4.6	△1,768	△22.9	6,074	4.6
投資その他の資産								
投資有価証券	9,175		9,522		347	3.8	9,820	
長期貸付金	1,149		1,107		△42	△3.7	1,220	
繰延税金資産	1,220		2,859		1,638	134.3	2,624	
差入敷金・保証金	13,328		13,270		△57	△0.4	13,151	
その他	3,671		3,417		△254	△6.9	3,432	
貸倒引当金	△2,100		△1,888		211	△10.1	△1,923	
投資その他の資産合計	26,444	19.6	28,288	22.1	1,843	7.0	28,327	21.6
固定資産合計	82,484	61.1	79,967	62.4	△2,517	△3.1	78,720	60.1
資産合計	134,995	100.0	128,057	100.0	△6,937	△5.1	130,931	100.0

(単位：百万円)

科 目	前第1四半期 (平成18年6月30日)		当第1四半期 (平成19年6月30日)		増減		前連結会計年度 (平成19年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
(負債の部)		%		%		%		%
流動負債								
支払手形及び買掛金	6,540		5,420		△1,119	△17.1	4,646	
短期借入金	20,799		14,565		△6,233	△30.0	17,162	
未払金	5,932		5,924		△8	△0.1	6,959	
未払法人税等	559		2,256		1,697	303.3	3,386	
賞与引当金	1,888		1,991		102	5.4	1,074	
割賦販売未実現利益	334		263		△71	△21.4	267	
その他	3,424		3,781		357	10.4	3,446	
流動負債合計	39,479	29.3	34,203	26.7	△5,276	△13.4	36,943	28.2
固定負債								
長期借入金	22,120		18,286		△3,834	△17.3	18,304	
繰延税金負債	216		150		△65	△30.3	150	
退職給付引当金	2,603		2,712		109	4.2	2,660	
役員退職慰勞引当金	2,183		1,777		△405	△18.6	2,437	
負ののれん	564		390		△173	△30.7	409	
その他	1,249		1,272		22	1.8	1,235	
固定負債合計	28,937	21.4	24,590	19.2	△4,346	△15.0	25,198	19.3
負債合計	68,417	50.7	58,794	45.9	△9,623	△14.1	62,142	47.5
(純資産の部)								
株主資本								
資本金	12,350	9.1	12,350	9.7	—	—	12,350	9.4
資本剰余金	24,003	17.8	24,003	18.7	—	—	24,003	18.3
利益剰余金	32,548	24.1	36,387	28.4	3,838	11.8	35,671	27.2
自己株式	△3,641	△2.7	△3,641	△2.8	△0	0.0	△3,641	△2.7
株主資本合計	65,260	48.3	69,099	54.0	3,838	5.9	68,384	52.2
評価・換算差額等								
その他有価証券評価差額金	1,207	0.9	△154	△0.1	△1,361	△112.8	123	0.1
土地再評価差額金	△845	△0.6	△845	△0.7	—	—	△845	△0.6
為替換算調整勘定	184	0.1	270	0.2	85	46.3	229	0.2
評価・換算差額等合計	546	0.4	△729	△0.6	△1,276	△233.5	△493	△0.3
少数株主持分	770	0.6	894	0.7	123	16.1	897	0.6
純資産合計	66,577	49.3	69,263	54.1	2,685	4.0	68,788	52.5
負債純資産合計	134,995	100.0	128,057	100.0	△6,937	△5.1	130,931	100.0

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第1四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)		当第1四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)		増減		前連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)			
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比		
売 上 高	31,805	100.0	30,428	100.0	△1,377	△4.3	124,654	100.0		
売 上 原 価	19,012	59.8	17,152	56.4	△1,860	△9.8	74,824	60.0		
割賦損益調整前売上 総利益	12,792	40.2	13,275	43.6	482	3.8	49,829	40.0		
割賦販売未実現利益 戻入(+)	41		11				126			
割賦販売未実現利益 繰延(-)	2	39	7	4	0.0	△34	△88.8	19	106	0.1
売 上 総 利 益	12,831	40.3	13,280	43.6	448	3.5	49,935	40.1		
販売費及び一般管理費	9,254	29.1	9,505	31.2	250	2.7	36,745	29.5		
営 業 利 益	3,576	11.2	3,774	12.4	197	5.5	13,189	10.6		
営 業 外 収 益										
受取利息・配当金	88		97				387			
負ののれん償却額	56		19				210			
その他	304	449	322	438	1.5	△10	△2.3	1,182	1,781	1.4
営 業 外 費 用										
支払利息	113		108				475			
その他	232	345	162	270	0.9	△74	△21.6	1,557	2,033	1.6
経 常 利 益	3,680	11.6	3,942	13.0	261	7.1	12,937	10.4		
特 別 利 益										
固定資産売却益	0		0				199			
役員退職慰労引当金 戻入益	2		45				2			
その他	—	2	91	137	0.4	134	4,831.6	654	857	0.7
特 別 損 失										
固定資産処分損	169		57				1,420			
その他	—	169	—	57	0.2	△111	△66.0	3,030	4,451	3.6
税金等調整前四半期 (当期)純利益	3,514	11.1	4,022	13.2	508	14.5	9,343	7.5		
法人税等	1,818	5.7	1,908	6.3	90	5.0	4,409	3.5		
少数株主利益	17	0.1	6	0.0	△11	△63.0	132	0.1		
四半期(当期)純利益	1,677	5.3	2,107	6.9	429	25.6	4,801	3.9		

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第1四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)	当第1四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)	前連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
	金額	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	3,514	4,022	9,343
減価償却費	3,687	3,281	15,633
減損損失	—	—	2,850
負ののれん償却額	△56	△19	△210
賞与引当金の増減額	844	917	29
役員退職慰労引当金の増減額	29	△660	284
固定資産処分損益	169	57	1,220
売上債権の増減額	△874	△241	2,489
たな卸資産の増減額	925	△751	2,589
カラオケ賃貸機器の売上原価振替	283	262	738
仕入債務の増減額	1,286	773	△612
その他	△493	△906	459
小計	9,317	6,736	34,816
法人税等の支払額	△1,397	△3,180	△2,192
その他	△43	△13	△114
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,876	3,542	32,509
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期性預金の預入による支出	△30	△48	△190
定期性預金の払戻による収入	63	68	214
有形固定資産の取得による支出	△3,765	△3,808	△10,442
有形固定資産の売却による収入	111	59	626
無形固定資産の取得による支出	△1,316	△1,053	△4,076
映像使用許諾権の取得による支出	△317	△384	△1,206
投資有価証券の取得による支出	△407	△126	△3,249
その他	△123	△31	265
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,787	△5,326	△18,059
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額	444	△1,862	△1,667
長期借入による収入	5,250	3,180	10,776
長期借入金の返済による支出	△3,981	△3,932	△14,848
配当金の支払額	△1,046	△1,392	△1,043
その他	△10	△10	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	657	△4,018	△6,792
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	26	38
現金及び現金同等物の増減額	2,746	△5,774	7,695
現金及び現金同等物の期首残高	24,222	31,918	24,222
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	26,969	26,143	31,918

(4) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期（平成18年4月1日～平成18年6月30日）

（単位：百万円）

項 目	業務用カラ オケ事業	カラオケ・ 飲食店舗事 業	音楽ソフト 事業	その他の事 業	計	消去又は全 社	連 結
売上高及び営業損益							
売上高							
外部顧客に対する売上高	17,785	8,417	2,878	2,724	31,805	—	31,805
セグメント間の内部売上高又は振替高	56	—	41	170	267	(267)	—
計	17,841	8,417	2,920	2,894	32,073	(267)	31,805
営業費用	15,232	7,348	2,780	2,338	27,699	529	28,228
営業利益	2,609	1,069	139	555	4,373	(797)	3,576

当第1四半期（平成19年4月1日～平成19年6月30日）

（単位：百万円）

項 目	業務用カラ オケ事業	カラオケ・ 飲食店舗事 業	音楽ソフト 事業	その他の事 業	計	消去又は全 社	連 結
売上高及び営業損益							
売上高							
外部顧客に対する売上高	16,389	8,855	2,486	2,697	30,428	—	30,428
セグメント間の内部売上高又は振替高	57	—	40	194	292	(292)	—
計	16,447	8,855	2,527	2,891	30,721	(292)	30,428
営業費用	13,509	7,585	2,530	2,406	26,032	621	26,654
営業利益（又は営業損失）	2,937	1,269	△2	484	4,688	(914)	3,774

前連結会計年度（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

（単位：百万円）

項 目	業務用カラ オケ事業	カラオケ・ 飲食店舗事 業	音楽ソフト 事業	その他の事 業	計	消去又は全 社	連 結
売上高及び営業損益							
売上高							
外部顧客に対する売上高	65,957	35,681	11,982	11,032	124,654	—	124,654
セグメント間の内部売上高又は振替高	228	—	178	750	1,158	(1,158)	—
計	66,186	35,681	12,161	11,783	125,812	(1,158)	124,654
営業費用	57,632	30,576	12,010	9,811	110,030	1,433	111,464
営業利益	8,554	5,105	150	1,971	15,781	(2,591)	13,189

1. 事業区分の方法

売上集計区分によっております。

2. 各区分に属する主要な商品又は役務の名称

事業区分	主要商品又は役務の名称
業務用カラオケ事業	業務用カラオケ機器の販売、賃貸及び通信カラオケへの音源・映像コンテンツの提供並びに専用情報端末(DAMステーション)によるコンテンツサービスの提供
カラオケ・飲食店舗事業	カラオケルームの運営及び飲食店舗の運営
音楽ソフト事業	音楽、映像ソフトの制作、販売
その他の事業	衛星放送事業、携帯電話によるコンテンツサービスの提供、不動産賃貸事業 ほか

3. 事業の種類別セグメントにおける事業区分の変更

当第1四半期において、次のとおりセグメント区分の見直しを行っております。

前連結会計年度までゲートウェイ事業に含めておりました、専用情報端末(DAMステーション)によるコンテンツサービスは、主力事業である業務用カラオケ事業における付加価値サービスと位置付け、当事業を業務用カラオケ事業と一体化させて事業展開を図ることとしたため、当第1四半期から業務用カラオケ事業に含めることに変更いたしました。

また、上記事業区分の変更に伴い、従来ゲートウェイ事業に含めておりました、eビジネス事業（携帯電話によるコンテンツサービス）は金額的重要性が低下しているため、その他の事業に含めることといたしました。

なお、上記、前第1四半期及び前連結会計年度の事業の種類別セグメント情報は、変更後の事業区分に基づき作成しております。

② 販売の状況

(単位：百万円)

セグメント区分	前第1四半期			当第1四半期			前連結会計年度		
		構成比	前年度比		構成比	前年度比		構成比	前年度比
業務用カラオケ事業		%	%		%	%		%	%
商品販売高	6,496	20.4	87.8	5,260	17.3	81.0	20,888	16.8	79.7
カラオケ機器賃貸収入	4,761	15.0	98.6	4,593	15.1	96.5	18,863	15.1	98.0
情報提供料収入	6,161	19.4	103.3	6,333	20.8	102.8	24,932	20.0	103.0
DSサービス収入	367	1.1	192.6	202	0.7	55.1	1,272	1.0	114.0
小計	17,785	55.9	96.7	16,389	53.9	92.2	65,957	52.9	93.2
カラオケ・飲食店舗事業									
カラオケルーム運営事業	6,860	21.6	103.0	7,104	23.4	103.6	29,194	23.4	101.0
飲食店舗事業	1,557	4.9	162.4	1,750	5.7	112.4	6,487	5.2	147.2
小計	8,417	26.5	110.4	8,855	29.1	105.2	35,681	28.6	107.1
音楽ソフト事業	2,878	9.0	103.3	2,486	8.2	86.4	11,982	9.6	84.0
その他の事業	2,724	8.6	101.1	2,697	8.8	99.0	11,032	8.9	100.4
合計	31,805	100.0	101.0	30,428	100.0	95.7	124,654	100.0	96.4

(注) 前第1四半期及び前連結会計年度は、変更後の事業区分に基づき作成しております。